

ました。あまりにも切迫致しました事になりましたので、原稿もその點が漸く南園會報(第五號)を發行するに留意して蒐載する事と致しました。

夏休のつれづれに是非御精讀下さ
〔編輯部〕

山口縣萩市五町七三番地
印刷人 野村 盛

南園會報

第五號

總務部だより

我等の南園會は總務部、學藝部、体育部、會誌部、圖書部、園藝部の六部に分れて其々有意義な活動を續けてゐます。各部の活動をより大なるものとし更に一段の發展を見ることができるとは、皆様が大同團結をなし、委員を中心として大いに活動するにあらざるやあります。活動を有意義ならしめて大いに發展し、全縣下の何處よりも優つた立派なものにするやうに活動してほしいのであります。又級長、副級長及自治會各部の役員の方は、常に學校風紀の善導に躬を以て範を示し、自治會員全部とよく協調して、品位の向上に努力されんことを希望します。本年度及第一期の役員委員の氏名等は左の通りであります。

南園會役員

南園 會長 校長先生
南園會副會長 岡田先生

△總務部 理事 岡田先生、伊藤通利先生、吉原先生、藤本先生、伊藤千代先生
委員 (四年) 厚東智恵子、横山トシ子、松浦八重
(三年) 齋藤芳枝、山田直子、秋山集義子
(二年) 今田美智子、西田保子、竹田伸子
(一年) 清水和代、小橋智恵子、小池八重子

△學藝部 理事 伊藤通利先生、秋山先生、今城先生、山本先生、黒野先生
委員 (四年) 若松ヨシ子、藤田富美枝、河野定子、林ヒサ、西村富美枝、村益ムシ子
(三年) 菊屋定子、松本富恵井上多美恵、神野澄江、佐々木翠、諫早スズ子
(二年) 佐伯壽美子、岡部巴岐子、上野薫子、小方清子、

朝枝秀子、守永良子
△体育部 理事 土屋先生、繩田先生、今城先生、七俵先生、藤田先生、居田先生
委員 (四年) 田村富美枝、廣吉子、寺本文子、土屋富美子、岡村キミ子、山一光香、木下タカ子、矢次文子、兒玉信子
(三年) 山根清子、大岡延子、楊井虎子、早川喜美枝、荒川君子、油屋嘉乃、町田マサエ、阿武孝枝、行本雅枝
(二年) 竹内フジエ、吉賀悦子、山本文子、木下文子、岡村キミ子、島崎須磨子、伊藤光子、水津梅子、中村喜久子
(一年) 小田智恵子、杉山定子、大野眞砂恵、椋木安子、金子貞江、岡崎貞子、竹下テツ子、椋木スエ子、石田京子

△會誌部 理事 神田先生、篠川先生、山本先生
委員 (四年) 長岡壽枝子、綿津和枝、岩武知子、井上君恵、加藤美知、小田和子
(三年) 石川日出子、竹下泰子、山本文子、中島久江、佐古淑子、馬庭芳枝
(二年) 山田ミドリ、沖野喜

△圖書部 理事 吉原先生、藤本先生、池内先生
委員 (四年) 藤道谷惠愛、伊藤登美代、橋本雪江、金子ノリ子、古屋梅子、内田安子
(三年) 田總セツ、藤田ヒデ子、山田一江、田坂美代子、渡邊由子、兼本タミ子
(二年) 板谷房江、峰岡富子、中村タキ子、秋田米子、佐々木英子、村上八千代
(一年) 吉田信子、猪野芳枝、刀彌登志子、藤田梅子、小柳清子、齋藤昌子

△園藝部 理事 藤田先生、居田先生、齋藤先生
委員 (三年) 松原君江、山縣操子、羽柴久子
(二年) 岡益子、三浦安子、伊東輝代
(一年) 小島ハツヨ、山根ヤス子、宮崎シヅエ

●全校自治會 評議員 (第一學期)

Table of school council members (評議員) categorized by grade (學年組) and subject (學科擔任). Includes names like 小池八重子, 齋藤昌子, 岩武幸子, etc.

●學友區自治會役員

Table of district student council members (學友區自治會役員) categorized by district (區名) and position (方面). Includes names like 吉田ユキエ, 高津美代子, 佐々木翠, etc.

●級監、副級監及級長、副級長 (第一學期)

Table of class supervisors and leaders (級監, 副級監, 級長, 副級長) categorized by grade (學年組) and subject (學科擔任). Includes names like 神田先生, 齋藤先生, 小池八重子, etc.

●學藝部だより

元且試筆
例年の通り元且試筆を行ひ教室に
藤田先生 藤本先生 厚東智恵子
池内先生

●雛祭並に學藝會

昭和九年三月六日、皇后陛下御誕
辰の佳節に於て例年の如く雛祭を行
ひたり、本年は聊か趣向を變へ各教
室は雛人形を飾らず講堂に之を飾り
各教室には除夜の裝飾を施し中々立
派に出来たる様なり。除夜も盛大に
行はれたり。また當日は母姉招待學
藝會を開催したるが何れの出演も相
當の出来栄にて多大の喝采を得たり
そのプログラムは左の通り。

年	學	四	第	年學三第	年學二第
齊	藤	七	伊藤通利	山黒有今繩	藤篠吉秋岡
藤	田	俵		本野田城田	本川原山田
日	二	月	六	日一月六	日二月六
日	八	月	六	日二月六	日 即
比叡山 四明ヶ嶽	伊勢 二見ヶ浦	奈良市 奈良市 畝傍	大阪府 大阪市 神戶市 瀬戸内海	下關市 門司市 うすり い丸	美禰郡 秋吉 山口市
第一日(六月二日) 人員點呼、學校長報告、 學校を出發して萩驛に向ふ、 萩驛發(下り厚狭行二一五列車) 下關驛着下車、 鐵道棧橋より大阪商船會社ランヂ で門司港岸壁に向ふ、大阪商船大 連船路船 うすり丸に乗船、瀬戸内海見學 汽船内、關門海峡、瀬戸内海見學 第一日(六月三日) 神戶港上陸、 神戶港、外國人街、大倉山公園 を參拜又は見學、 大阪毎日新聞、中ノ島公園、大阪 城、地下鐵道、三越、其他市内見學 第二日(六月四日) 造幣局、四天王寺、今公園、動物 園(天王寺驛發奈良へ向ふ)、 畝傍驛(途中下車)、 福原神宮、神武天皇御陵參拜、 猿澤ノ池、東大寺、三笠山 其他名所點 第三日(六月五日) 春日神社、興福寺參拜、古梅園見 學、(山田へ向ふ)、 外宮内宮參拜、觀古館、二見ヶ浦 見學 第四日(六月六日) 京都へ向ふ、 大津驛(途中下車)、 三井寺に參拜、琵琶湖見學、京阪 電車坂本線に乗車し坂本驛に至り 坂本ヶ原(カケノコ)にて比叡山に登 り延暦寺に參詣し叡山電鐵により 京都出町柳に着、市内見學	第一日(六月一日) 吉香神社、錦帯橋、 嚴島神社、紅葉谷公園、千疊閣 第一日(六月一日) 比治山公園、大本營跡 廣島城址、淺野侯邸				

言ふまいと思へど暑さ殿しい昨今運びに至りました。會報は前號まで。「各部だより」によつて南園會各部の聲に一人汗絞られる思ひが致しは同窓會員全部に送附してゐましたの活動状況も窺はれ、参考ともなる。最早夏休も真近に迫つて參りが、本號より在校生のみに頒布する事が多からうと思ひます。

購賣部だより

本年の新學期より本校に於て購賣部を新設されました。始めての事とて何かについて色々心配して居りましたが、皆様がよく御利用下さいましたので、新設以來日に増し向上致して居りますので誠に喜ばしき事と存じて居ります。第一學期も最早終り近くなりましたが、第二學期よりは一層内容を充實致しまして皆様の御期待に添ひたいと思つてをります。一段の御利用下さらんことを願致します。御參考迄に目下販賣中の商品掲げて見ますと左記の通りであります。尙商品中御心付の點がありましたらば御知らせ下さいませば誠に結構に存じます故遠慮なく申出て下さる様御願致します。

- 校章 一〇錢
- 筆習字用 拾八錢
- 同かな書 拾貳錢
- 墨(古梅園) 四拾五錢

京都市
嚴島

第六日(六月七日)
伏見御陵、同東御陵參拜、伏見稻荷乃木神社、三十三間堂、東本願寺、西本願寺、嵐山御所、金閣寺、北野神社、イノクライン、南禪寺、智恵院、圓山公園、清水寺、普賢寺、其他市内名所舊蹟參拜又は見學
第七日(六月八日)
嚴島神社、紅葉谷公園等參拜又は萩驛歸着、下車、人員點呼、解散

- 各種ノート 拾五錢
- 音ツク(丸、九半、丸、丸) 拾五錢
- ズツク(十文以上) 拾五錢
- 東京糸 拾六錢
- 木綿シツケ糸 拾六錢
- 都糸 拾六錢
- ミシン糸 拾六錢
- キヌ小町糸 拾六錢
- 絹糸 拾六錢
- ズベ糸 拾六錢
- グレース(ハツ) 拾六錢
- バイヤステープ 拾六錢
- 五線紙 二十枚 拾六錢
- 沓下カバ 拾八錢
- 沓下カバ 拾八錢
- ハンカチ 拾八錢
- 鉛筆四B(圖書用)トシボ 拾八錢
- 色鉛筆 拾八錢
- 筆記用筆 拾八錢
- 書紙 拾八錢
- 半紙 拾八錢
- 塵紙 拾八錢
- 運動シヤツ 拾八錢
- ズロース 拾八錢
- 縫針 拾八錢
- 待修針 拾八錢
- 其他修養日誌、勤勞簿、裁縫成績帳、漢字集等 拾八錢

昭和九年七月十五日印刷
昭和九年七月二十日發行
發行兼編輯人 山口縣立萩高等女學校内 神田 信 明

或は山に或は海に涼を追ふ楽しい夏休みもいよ
々おし追つて参りました。
ここに今漸く南園會報(第六號)が出来上り

と共に今後の躍進のそなへにして刻きたいと
存じます。
終に學期末の事務使傳の間に各部係諸先生

發行所 山口縣萩市瓦町七三番地
山口縣萩市瓦町七三番地
印刷人 野村盛一

南園會報 第六號

◆總務部だより

一路力強き發展向上の輝きを呈して
進みつゝある我等の南園會は、總務部
學藝部、体育部、會誌部、圖書部、園
藝部の六部に分け、各々その部の有意
義なる活動に精進してゐるが、將來更
に全生徒の結束活動、協同一致の下に
最善の努力を盡して、歴史的にも他に
比類のないほどの光輝ある我が校の活動
諸方面を一段立派なものとしたいと
思ふ。

學藝部の話材表現に於ける、体育部
の諸競技の鍊磨並に体育精神を通して
の品位の向上に於ける、圖書部の充實
せる参考書をより良く活かして精神の
糧とする如き、園藝部の花卉栽培によ
る美的情操、高尚なる品位の育成に於
ける等の活動修養を各部の委員が中心
となり、各部の理事諸先生の指導の下
に一段磨いてほしいと思ふ。
其他學校一般の規律風紀の方面に於
ては、各級の正副級長及自治會(學校
學級、學友區)各部の役員が中心とな
つて、善良なる範を躬を以て示し、且

互に協力して學級のため學校のため又
自己のため修養して品位の向上、
人間の完成に努力してほしい。
假令一藝一能に通達するこも、その
人間としての資格に欠ける所があれば
、總てが零であるこを自覺して戴き
たいので總務部として一言茲に希望を
述べて置きます。終に本年度の各學年
學級の役員、委員等の氏名並に諸先生
の御擔任等に關する概要を左に掲載い
たします。

◆南園會役員(昭和十年度)

南園 會長 校長 先生
南園會副會長 岡田先生

◆總務部(理事)

岡田先生、伊藤通利先生、繩田先生、味富先生、藤本先生

委員(補習科)若松ヨシ子
(四年)齋藤芳枝、井上多美江
佐古淑子
(三年)佐伯壽美子、村橋追子
竹田伸子
(二年)菊屋華子、小橋智恵子
小池八重子
(一年)平田和子、長嶺美代、

◆學藝部(理事)

三浦先生、秋山先生、今城先生、篠川先生、味富先生、伊藤千代先生、東先生

委員(補習科)田村富美枝、兒玉信子

(四年)大谷ミチ子、菊屋定子
神野澄江、池内千代子、佐々木翠、西山貞子

(三年)沖野喜美子、宮本喜久代、秋田米子、上野薫子、守永良子、官野文子

(二年)和田洋子、小野村澤子、刀彌登志子、岩武幸子、高崎豐子、内山尚子

(一年)松原澄江、吉原秀、三好小夜、新川延子、國光和子、上田ヨネコ

◆体育部(理事)

土屋先生、繩田先生、今城先生、七俵先生、岩松先生、池内先生、岡内先生

委員(補習科)木下タカ子、矢次文子、細田千代

(四年)大岡延子、楊井虎子、山根清子、荒川君子、柳井タミ子、兒玉芳子、阿武孝枝、藤田徳子、町田マサエ

(三年)竹内フジエ、山田ミドリ、山本文子、岡村キヨ子

伊藤妙子、藤原清枝、水津梅子、中村喜久子、伊藤光子

(二年)齋藤サカエ、近藤ヨシ

◆會誌部(理事)

神田先生、篠川先生

委員(補習科)加藤美知、岩武知子
(四年)竹下泰子、石川日出子
野村節子、山縣操子、馬庭芳枝、井上サトリ

(三年)香川キミ、高津美代子
中村タキ子、岡壽子、松屋幸子、佐々木英子

(二年)栗屋昭子、杉山定子、安永英子、羽鳥綾子、森重靜江、神野清江

(一年)秋本幸恵、濱中勝美、坂本安代、朝枝アイ子、岡野信子、杉山哲子

◆圖書部(理事)

吉原先生、藤本先生、齋藤先生

委員(補習科)篠原敏子、井上君恵
(四年)藤田ヒデ子、松本富恵
吉田ユキエ、中島久江、中村康子、金子清香

(三年)阿武敏子、世良一子、大島ヨシ子、小方清子、桂美代子、綿津泰江

園藝部 (理事) 岩松先生、池内先生、齋藤先生
委員 (四年) 松原君江、山本文子

(二年) 厚東壽美子、鈴木ヨシノ、松岡英子、藤田梅子、本永嘉代子、齋藤昌子
(一年) 中村キヨ子、阿武淳子、久保田澄子、山中竹子、山中伊久子、金子典子

(三年) 岡益子、三浦安子、伊東輝代
(二年) 小田千恵子、小澤トヨ子、波多野貞子、金子貞江、西村静江、三嶋昌子
(一年) 山本陸子、梅木貞子、渡邊光、池田茂子、山田元子、柴田須美恵

自治會役員 (第二學期)

- 全校自治會 評議員 (第二學期)
- 一松 有田 正子 山田 元子
 - 一梅 長嶺 美代 坂本 安代
 - 一菊 平田 和子 松浦 房子
 - 二松 小池八重子 石原 愛子 齋藤 昌子 内山 尚子
 - 二梅 岩武 幸子 小方 清江 刀爾登志子 羽島 綾子
 - 二菊 菊屋 華子 波多野光子 清水 和代 小野村澤子
 - 三松 竹田 伸子 官野 文子 守永 良子 佐々木英子
 - 三梅 松屋 幸子 朝枝 秀子 上野 薰子 村橋 道子 中村タキ子
 - 三菊 小方 清子 秋田 米子 岡 益子 阿武 敏子 佐伯壽美子
 - 四松 世良 一子 山田ミドリ 諫早スミ子 兼本タミ子 佐古 淑子
 - 四梅 秋山集義子 中村 康子 西山 貞子 波多野スミ江
 - 四菊 井上多美恵 山縣 操子 神野 澄江 山本 文子
 - 補習 齋藤 芳枝 田總 セツ 周山 雅子 楊井 虎子
 - 松本 富恵 早川 澄子 早川 園枝 山根 清子
 - 齋藤 敏子 波多野馨子 上利 愛子 木下タカ子
 - 岩武 知子 岡田 公子 中野 愛子 矢次 文子
 - 柳林 明子 井上 君恵 古屋 梅子 細田 千代

學級自治會役員 (第一學期)

- 學年組 學習係 風紀係 清潔整頓係 体育係
- 一松 杉山 哲子 柴田須美恵 下瀬 輝子 古見サト子
 - 一梅 上田ヨネコ 國光 和子 岡田 美代 竹久 久江
 - 一菊 金子 典子 香川 ミヨ 三好 小夜 小野村ツル子 阿武 静子
 - 朝枝アイ子 山中 文枝 末益フミ子 高壽 操 森屋 節子
 - 山中 竹子 林 キミ 中川よし江 長尾 春枝
 - 一松 中村キヨ子 古原 秀 兒玉 睦子 尾方 笑子
 - 阿武 淳子 松原 澄江 阿部キクエ 三好 美恵 田村 菊江
 - 秋本 幸恵 齋藤 昌子 神野 清江 濱中 勝美 伊勢島政枝
 - 本永嘉代子 内山 尚子 吉原 初枝 高崎 豊子 河村ミチエ
 - 二松 齋藤 昌子 齋藤 昌子 森重 静江 高津キタコ 岩本登喜子
 - 二梅 小橋智恵子 波多野貞子 領家八重子 安永 英子 杉原 恭子
 - 岸 洋子 沖田 澄子 波多野貞子 田村 光江 金子タマヨ
 - 二菊 清水 和代 杉山 定子 高松タマノ 渡邊 廣子
 - 厚東壽美子 小野村澤子 黒磯 シノ 小田 恵子 近藤 ヨシ
 - 三松 守永 良子 伊藤 輝代 山根 秀子 池田 清子 水津 保代
 - 三梅 官野 文子 山根 幸子 松屋 幸子 村上八千代 中村喜久子
 - 三菊 津田 勝子 大島ヨシ子 藤山喜美枝 朝枝千恵子 岡村キヨ子
 - 宮本喜久代 岡 益子 世良 一子 板屋 房江 山本 文子
 - 沖野喜美子 山口屋恭子 阿武 敏子 山田ミドリ
 - 四松 高津美代子 西山 貞子 河野ウメコ 阿武 孝枝
 - 四梅 佐古 淑子 中村 康子 馬庭 芳枝 町田マサエ
 - 佐々木 翠 末岡 良子 山田 一江 柳井タミ子
 - 神野 澄江 池内千代子 長澄 靖子 油屋 嘉乃
 - 四菊 中島 久江 荒川 君子 田坂美代子 野村 岸江
 - 菊屋 定子 井町ヒデ子 大谷ミチ子 大岡 延子

學友區概要 (昭和十年度)

- 區名 方面 附屬地 控教室 監督 區長 副區長
- 一 下り汽車 通學 大井、奈古、宇田郷、須佐方面 理科 土屋先生 口羽 理子 河野ウメ子
 - 二 松本 船津、椎原、沼田、上野、福中、井、紫福方面 四菊 伊藤(千)先生 中村 康子 柴田フミ子
 - 三 香川津 香川津、新川、鶴小畑全部、越夕方面 四梅 伊藤(通)先生 廣石 幾枝 木原 繁子
 - 四 濱崎 熊谷町、津森町 濱崎全部 四松 繩田先生 波多野文江 村田 綾子
 - 五 田町 東(西)田町、瓦町、吳服町、米屋町、新堀方面 三菊 藤本先生 菊屋 定子 大岡 延子
 - 六 細工町 御弓町、鹽屋町、油屋町、美須町、春若町、北片河、魚柳方面 三梅 吉原先生 松本 富恵 西田 保子
 - 七 堀内 堀内全部 三松 池内先生 池内千代子 藤井ミネ子
 - 八 平安古 平安古新道路ヲ境、北西部全般 二菊 神田先生 箭島 文子 安藤 政江
 - 八 平安古 平安古新道路ヲ境、南西部全般 二梅 岩松先生 井上多美恵 山縣 操子
 - 九 平安古 平安古新道路ヲ境、南西部全般 二松 東先生 柳井 虎子 虎竹カスエ
 - 一〇 西江 米屋町下ヨリ、明倫筋ヲ境、徳隣寺、江向西部全般 二菊 東先生 柳井 虎子 虎竹カスエ
 - 一一 東江 米屋町下ヨリ、明倫筋ヲ境、徳隣寺、江向東部全般 一菊 佐古 淑子 町田マサエ

學科擔任及學級擔任 (昭和十年度)

- 學科擔任 級監又ハ 氏 名 學科擔任 級監又ハ 氏 名
- 修身、公民科、教育 岡田先生 修身、歷史、地理、作文 一菊 篠川先生
 - 數學、理科 三松 伊藤通利先生 裁縫、手藝、作文 補習科 味富先生
 - 公民科、歷史、地理 四松 三浦先生 家事 補、副 藤本先生
 - 体操 一松 土屋先生 裁縫、手藝 三、副 伊藤千代先生
 - 習字、圖畫 三菊 秋山先生 音樂 一、副 東先生
 - 數學 二松 繩田先生 裁縫、手藝 四、副 池内先生
 - 國語 一梅 神田先生 家事、作法 二、副 岡内先生
 - 公民科、英語 四梅 今城先生 裁縫、手藝 二、副 齋藤先生
 - 英語、數學 四菊 吉原先生 國語 二、副 齋藤先生
 - 体操 三梅 七俵先生 生花、茶儀 上利先生
- 一 二橋 本橋本町、御許町 一梅 味富先生 行本 雅枝 小方 美香
- 一 三川 島川島全般 一松 三浦先生 諫早スミ子 兒玉 芳子
- 一 四南 土原 土原新道ヲ境トシテ南部全般ノ土原唐樋 一裁 齋藤先生 原田 久子 野村 節子
- 一 五北 土原 土原新道ヲ境トシテ北部全般ノ土原上五間町、井町今古萩 二裁 秋山先生 齋藤 芳枝 末岡 良子
- 一 六椿 町 椿町、雜式町、金谷、青海、沖原、川上、明木方面 地歴 岡内先生 秋山集義子 藤田ヒデ子
- 一 七玉 江 玉江、山田、白水 圖習 七俵先生 渡邊 由子 柳井タミ子
- 一 八上り汽車 通學 三見、三隅、正明市、仙崎、湯本方面 講堂 今城先生 飯田トモエ 荒川 君子
- 一 九寄宿舎 寄宿舎生 博物 篠川先生 大谷ミチコ 早川 園枝

級長及副級長氏名表 (昭和十年度)

Table listing student leaders and vice-leaders across three semesters (第一學期, 第二學期, 第三學期) for various classes (組別).

學藝部だより

元旦 試筆
例年の通り、元旦試筆を行ひ各教室に掲示せり。

雑祭並に學藝會

昭和十年三月六日地久節の佳節を以て例年の如く雑祭を行ひたり。

- キ裝飾を施し、愉快に一日を過せり。
また當日母姉を招待し學藝會を開催せり。

卒業式成績品展覽
本年三月二十日、卒業式の盛典に際し卒業生全部の習字の成績品及び全校生徒中の優秀なる圖書習字の成績品を陳列して、來賓父兄の鑑賞に供せり。

南園 婦人文庫だより

- 此れと同様に先生方がいくら熱心にコーチされても選手の方々が自發的に練習しなければ能率はあがりません。

談話練習會

談話練習會は毎年一回金曜日に開催す。而して各教員の採點により等級を決定し、一より三まで發表す。

- 昭和九年度
四年菊 馬庭アキ子、綿津和枝
梅 岩武知子、橋本雪江、村田力子

體育部だより

昨年は西部女子中等學校體育大會に於て見事優勝の榮冠を得、續いて縣體育大會其他各地方に於ける競技大會に出場し、斷然他校を壓し縣下第一の折紙をつけられ大い歴史を残しました。

努力の快味を体験し、選手の方々が在學中最も印象深い練習の如何が秋の槍舞臺に影響するので決して閑却すべきものでありせん。

- 新漢和字典(宇野哲人)
漢和字典(小柳司氣太)
辭苑(新村出)
The Sansseids, Century English-Japanese Dictionary (三省堂)

- The Sun English-Japanese Dictionary (村田祐治)
國語と民族思想第三輯(湘南國語研究會)
各科教育論(學藝第十號)
海軍軍縮會議と日本の將來(有馬成甫)

- 楠木正成(社會教育會)
- 日本女性鑑(大日本聯合婦人會)
- 排球競技指導法(中島太郎)
- 國譯大藏經(國譯大藏經編輯部)
- 本卦かへり(下村海南)
- 我が兒の科學教育(堀七藏)
- 偉人群像(新渡戸稻造)
- 國木田獨歩集(國木田獨歩)
- 西郷南洲(仁木笑波)
- 山縣元帥(杉山茂丸)
- 近松秋江久米正雄集
- 吉田絃二郎藤森成吉集
- 考へ方解き方明解算術(山内太二)
- 名勝温泉案内(松川二郎)
- 偉人乃木將軍(浩文社)
- 和歌の話(佐々木信綱)
- 名著選評趣味の泉(高木斐川)
- 歌まなび(宮脇義臣)
- 和歌うひまなび(鈴木重胤)
- 修養逸話偉人は語る(高島平三郎)
- 日本精神逸話の泉(高島平三郎)
- 西洋美術史(石井直三郎)
- 日本美術史(姪射良)
- 日本人の宗教(溝口駒造)
- 近世日本裏面史(北村治三郎)
- 上古近古西洋裏面史(藤澤基一)
- 近世世界興亡裏面史(藤澤基一)
- 上代國文學の研究(橋純一)
- 山岳大觀(各務良幸、麻生武治)
- 山岳寫眞の研究(小池晚人)
- 新らしい學校劇(日本兒童劇協會)
- 源代物語講義(岩城準太郎)
- 實習教材略講の描き方(岡野榮、丹羽)

- 禮介)
- 日本宗教史(比屋根安定)
- 世界宗教史(比屋根安定)
- 國民の日本史(早稻田大學出版部)
- 物語日本史大系(早稻田大學出版部)
- 少年國史物語(早稻田大學出版部)
- 大楠公(中村孝也)
- 大楠公六百年祭を迎へて(平泉澄)
- 昭和十年度中等學校入學試驗問題集
- 幼時の見聞(林茂香)
- 日本女性鑑上下(大日本聯合婦人會)
- 防長郷土修身資料第一、第二輯(守田保二)
- 婦人界三十五年(福島四郎)

學校日誌抄

- 一月一日(火) 午前九時三十分より拜賀式を舉行。
- 一月八日(火) 午前九時三十分より第三學期の始業式を舉行式後正副級長の任命式あり。
- 一月十四日(月) 本日より向ふ三週間寒稽古を行ふ。
- 一月十七日(木) 本日より各教室のストーブを焚き始む。
- 一月二十一日(月) 第六時限に自治會總會並談話練習會を開催す。
- 一月二十二日(火) 奉天高等女學校教諭寺戸佐平氏來校視察。
- 一月二十三日(水) 岡田教諭は美禰郡方面に出張。
- 一月二十五日(金) 伊藤通利教諭は奈

- 古、須佐方面に出張。
- 一月二十六日(土) 午後二時より圖書室に於て教員修養會を開催。
- 廣島岡山奈良縣方面視察談話土屋教諭我國現制の勳章の種類と其の佩用法細田教諭
- 一月二十七日(日) 伊藤通利教諭は女子師範學校二部受験者を引率して室積町に出張。
- 一月二十八日(月) 筒井校長は山口市に出張。
- 一月二十九日(火) 筒井校長は縣下高等女學校校長會議に出席のため山口市に出張。
- 一月三十一日(木) 文科甲教授法研究會を開催す。
- 第一時限 一松 國語 神田教諭
- 第二時限 三菊 國語 山本教諭
- 第三時限 四松 國語 岡田教諭
- 第五時限より右の批評會を開く。
- 午後三時より教授用備品調査に關する職員會議を開く。
- 二月二日(土) 寒稽古の最終日に午前九時より体育館に於て終了式を行ふ午後一時より小競技會を開く。
- 二月四日(月) 筒井校長、細田、吉原教諭は厚狭高等女學校へ數學科研究會に出席のため出張。
- 二月五日(火) 岡田教諭は奥阿武方面に出張。
- 二月六日(水) 第六時限に服裝及携帶品の検査を行ふ。
- 二月七日(木) 筒井校長は須佐町方面

- に出張。
- 二月八日(金) 第六時限に講堂に於て針供養を行ふ。
- 二月九日(土) 東京女子高等師範學校附屬主事堀氏來校視察。
- 二月十一日(月) 午前九時三十分より紀元節の拜賀式を舉行す。
- 二月十三日(水) 本縣學務部長高橋一郎氏來校視察さる。
- 二月十四日(木) 第五時限に自治會總會並談話及音樂練習會を開催。
- 二月十九日(火) 岡山縣倉敷高等女學校教諭富山好一氏來校視察。午後三時より教員修養會を開催。
- 芭蕉と俳句 神田教諭
- 二進法に就て 吉原教諭
- 二月二十日(水) 室積女子師範學校教諭木田貞平氏は女子師範學校二部受験者の身元調査のため來校。
- 二月二十七日(水) 第四學年生徒は裁區裁判所の公判を見學す。
- 文科乙の教授法研究會を開催す。
- 第一時限 二菊 國史 三浦教諭
- 第二時限 一松 英語 今城教諭
- 第三時限 二梅 地理 篠川教諭
- 第五時限より右の批評會を開催す。
- 二月二十八日(木) 筒井校長は中等學校長會議に出席のため山口市に出張
- 三月一日(金) 本日より第三學期末考査を施行す。山口高等女學校校長長房氏來校視察。
- 三月六日 午前九時三十分より地久節の拜賀式を舉行。午後二時より雛祭母

- 姉招待の學藝會を開催す。
- 三月八日(金) 第三、四學年は第二次學期末考査を施行す。
- 三月九日(土) 午前九時二十分より岡本陸軍大佐の陸軍記念日の講演あり
- 三月十三日(水) 筒井校長は山口市に出張。
- 三月十五日(金) 卒業生の成績會議を開催。
- 三月十八日(月) 第三學年以下の成績會議を開催。
- 三月十九日(火) 午後一時より卒業式の豫行演習を行ふ。
- 三月二十日(水) 午前九時三十分より本校第二十三回卒業証書授與式を舉行す。
- 三月二十一日(木) 午後一時より同志會新入會員歡迎會並新卒業生の送別會を開催。
- 三月二十二日(金) 午前九時二十分より第三學期の修業式を行ふ。引續き山本教諭の告別式あり。
- 三月二十五日(月) 午後一時より入學考査問題に關する協議會を行ふ。
- 三月二十六日(火) 午前九時全職員出勤入學考査に關する打合せあり午後八時入學考査に關する諸準備をなす。
- 三月二十七日(水) 午前七時二十分受附開始昭和十年度入學考査を施行す
- 三月二十八日(木) 入學考査を施行す
- 三月二十九日(金) 午前九時職員出勤入學考査判定會議を開催。午後一時合格者の發表をなす。

- 四月八日(月) 午前九時三十分より始業式を舉行、引續き末宗、味富兩教諭の就任式あり。
- 午前十一時より補習科の入學式、午後一時より第一學年生徒の入學式を舉行。午後四時より南國館に於て赤十字社名譽會員の茶話會あり。
- 四月九日(火) 第一學期正副級長の任命式あり。
- 四月十日(水) 第六時限に服裝並携帶品検査あり。
- 四月十四日(日) 本校に於て山口縣醫學會開催。
- 四月十五日(月) 志都神社禮祭當日なるも雨天のため堀内方面の生徒總代として參拜す。
- 四月二十日(土) 味富教諭は高等女學校補習科主任會議に出席のため山口市に出張。
- 補習科生徒は油谷灣より萩港まで軍艦に便乗す。
- 第四學年以下は博覽會及展覽會見學をなす。
- 東京文理科大學生十二名教授三名に引率され來校。
- 四月二十二日(月) 長崎縣体育運動主事小山長祐氏來校視察さる。
- 四月二十三日(火) 第六時限後招魂社に參拜す。
- 縣下女中等女學校校長會議開催され縣より中山學務課長、靈田視學官、熊本縣視學、藤田縣屬臨席、山口高等女學校校長外二十一名出席さる。

- 縣參事會計検査のため來校。
- 四月二十五日(木) 補習科、第四學年第三學年梅菊身休検査を行ふ。南國會豫算會議を開く。
- 四月二十六日(金) 第三、四學年生徒は福井、紫福、大井方面に、第一、二學年は羽賀臺、大井方面に何れも遠足をなす。補習科生徒は博覽會、展覽會の見學をなす。
- 四月二十七日(土) 放課後教員修養會を開催。
- 四月二十七日(土) 十一時三十分より學校長より結核豫防に關する講演あり。第二學年生徒の身休検査を行ふ放課後教員修養會を開催。
- 醬油に就て 岩松教諭
- 音樂の鑑賞に就て 東 教諭
- 宇部高等女學校生徒百名教員三名南國館見學のため來校。
- 四月二十九日(月) 午前九時三十分より天長節の拜賀式を舉行。
- 四月三十日(火) 第三學年松組及第一學年生徒の身休検査を行ふ。高木鈴子女史指導の下に補習科生徒は今明日中洋裁の講習を受く。
- 五月二日(木) 筒井校長は思想問題講習會に出席のため今明日中長府町へ出張。
- 五月六日(月) 家事科教授法研究會を開催。
- 第一時限 三菊 家事 岡内教諭
- 第二時限 四菊 家事 藤本教諭
- 第六時限より右の批評會を開く。

- 五月七日(火) 山口高等家政女學校生徒九十名牛駒教諭引率の下に來校南國館を見學。
- 五月九日(水) 防府高等女學校生徒百四十六名教員四名に引率されて來校南國館を見學す。
- 五月十三日(月) 岡田教諭は女子中等學校教務主任會議に出席のため本日より三日間柳井町へ出張。今城教諭は英語科教授研究會に出席のため萩中學校に出張。本日より一週間本校に於て小學教員檢定試驗施行さる。
- 五月十六日(木) 第六時限に職員生徒の保健体操及び校舎を福岡市吉塚町の「ミクニ映畫撮影部」乘り撮影をなす教育新聞記者宮本智光氏職員に對し指紋に關する講話あり。
- 五月十七日(金) 岡田教諭は國語科研究會に出席のため山口市に出張。
- 五月二十日(月) 第二學年生徒は市内西部史蹟巡りをなす。京都より河合寫眞部來り第二學年を除き各組毎に寫眞を撮る。
- 五月二十一日(火) 第四學年生徒は本間方面に、第三學年生徒は長門峽に第一學年生徒市内東部史蹟巡りを何れも終日遠足をなす。
- 宮崎縣立都城高等女學校教諭三島孝徳氏來校視察。
- 五月二十二日(水) 第一、二學年及補習科の服裝並携帶品の検査を行ふ。
- 五月二十三日(木) 第三、四學年の服裝並携帶品の検査を行ふ。

